

YAMAHA **JA**

無線 LAN アクセスポイント『WLX313』初期設定ガイド

ヤマハ製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。初期設定をはじめの前に「取扱説明書」に記載されている警告や注意をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。また、本紙はなくさないように、大切に保管してください。

無線 LAN コントローラー機能について

本製品は無線 LAN コントローラー機能を内蔵しています。1 台の WLX313 を Controller-AP、残りの WLX313 を Member-AP として設定することで、Controller-AP で Member-AP を制御 / 管理できます。

主な工場出荷時の設定について

設定項目	工場出荷時の設定
IP アドレス	DHCP 自動取得 (取得失敗時は 192.168.100.240/24)
デフォルトゲートウェイ	DHCP 自動取得 (取得失敗時は未設定)
DNS サーバー	DHCP 自動取得 (取得失敗時は未設定)
ユーザー名	admin
管理パスワード	未設定
コントローラー機能 (役割)	Member-AP
アンテナ設定	内蔵アンテナ
L2MS スレープ機能	有効

設定の流れ

Controller-AP1 台でネットワークに接続するための初期設定を説明していきます。本製品の設定変更は、本製品に接続したパソコンの Web ブラウザーから本製品の「Web 設定画面」を開いて行います。

- 1 本製品とパソコンを接続する
- 2 パソコンの IP アドレスを設定する
- 3 「Web 設定画面」を開く
- 4 管理パスワードを設定する
- 5 無線設定をする
- 6 IP アドレスを設定する
- 7 設置する

設定をはじめの前にご用意ください

パソコン

本製品の設定を行うパソコンをご用意ください。

PoE 給電機器または電源アダプター

本製品には電源アダプターが付属していないため、PoE 給電機器または弊社別売の電源アダプター (YPS-12V3A) をご用意ください。

LAN ケーブル

パソコンまでの距離に合わせて、LAN ケーブルをご用意ください。

注意

1000BASE-T でご使用になる場合は、エンハンスドカテゴリ 5 (CAT5e) 以上の LAN ケーブルをご使用ください。

ネットワークの情報

本製品を接続するネットワークの情報をご用意ください。

1 本製品とパソコンを接続する

本製品の無線設定を行うために、設定用のパソコンを本製品に接続してください。

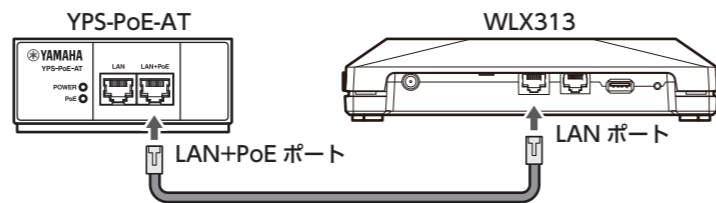
PoE 給電機器を使用する場合

本製品は、IEEE802.3af に対応した PoE 給電機器からの給電に対応しています。PoE 給電機器を使用する場合は、下記の手順に従って接続してください。本紙では、弊社別売の PoE インジェクター YPS-PoE-AT を例に説明します。

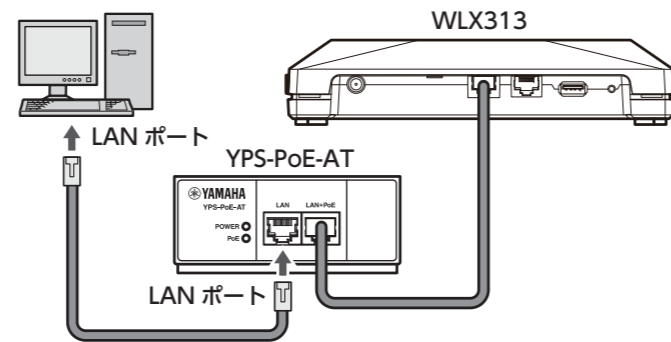
注意

本製品に接続する PoE 給電機器が、IEEE802.3af のみに対応している場合、無線機能は有効になりません。

1. 本製品の LAN ポートと YPS-PoE-AT の LAN+PoE ポートを、LAN ケーブルで接続する。
YPS-PoE-AT から給電がされると、本製品の電源が入ります。YPS-PoE-AT の PoE 給電機能に関しては、YPS-PoE-AT の取扱説明書をご覧ください。



2. 設定用のパソコンの LAN ポートと YPS-PoE-AT の LAN ポートを、LAN ケーブルで接続する。



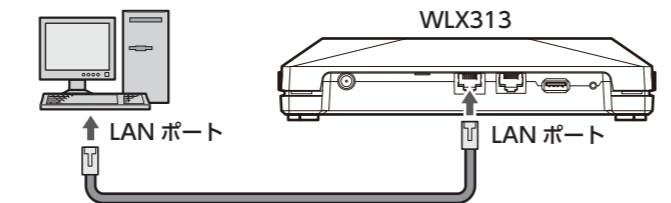
電源アダプターを使用する場合

別売の電源アダプター (YPS-12V3A) を使用する場合は、下記の手順に従って接続してください。

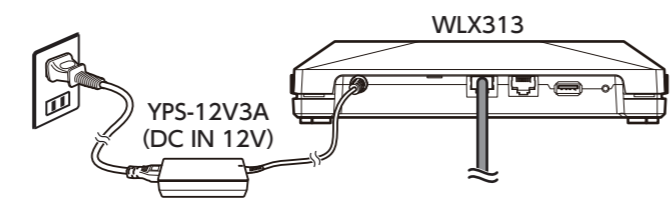
注意

電源アダプターは、必ずヤマハ YPS-12V3A を使用してください。他の電源アダプターを使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

1. 本製品の LAN ポートと設定用のパソコンの LAN ポートを、LAN ケーブルで接続する。



2. 電源アダプターを本製品に接続する。



3. 電源プラグをコンセントに接続する。
本製品の電源が入ります。

2 パソコンの IP アドレスを設定する

本製品の工場出荷時の IP アドレスは「DHCP 自動取得」に設定されています。「Web 設定画面」を開くために、設定用のパソコンの IP アドレスを一時的に変更してください。また、パソコンの IP アドレスの設定方法は、OS により異なります。本紙では、Windows 10 を例に説明します。

注意

- ・パソコンには管理者権限をもつユーザー名でログオンしてください。管理者権限については OS のヘルプなどをご覧ください。
- ・本製品の無線設定が終わったら、パソコンの IP アドレスを元に戻してください。
- ・パソコンの IP アドレスを変更する前に、忘れないように元の IP アドレスをメモするなどして保管してください。

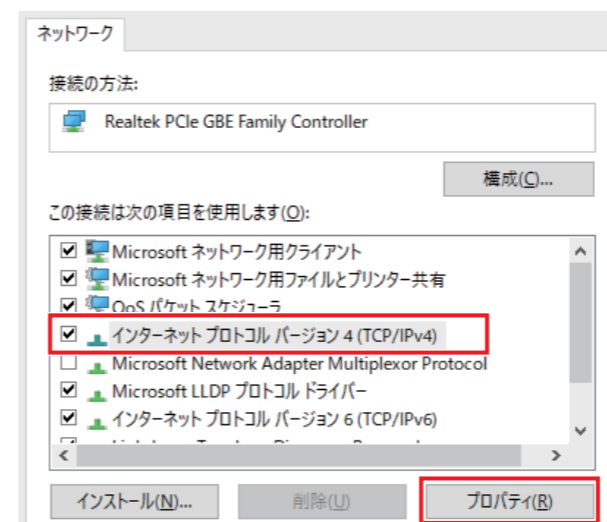
1. スタートメニュー画面から「設定アイコン」() - 「ネットワークとインターネット」の順にクリックする。
2. 「アダプターのオプションを変更する」をクリックする。



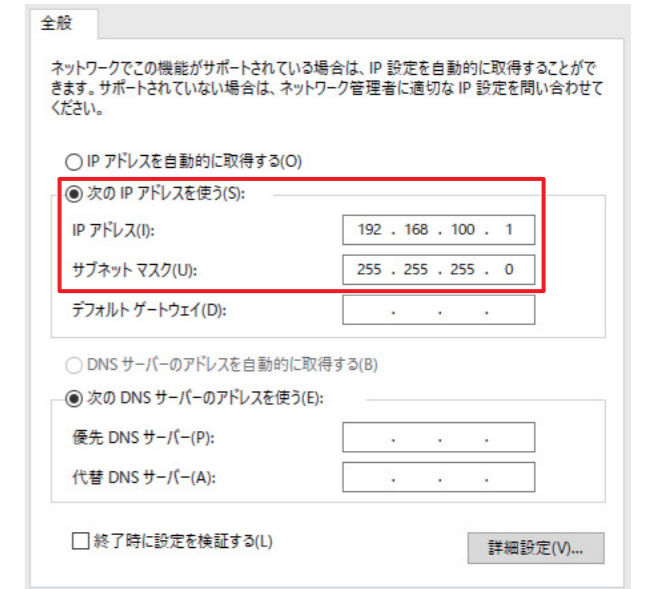
3. 変更するアダプターを右クリックし、「プロパティ」をクリックする。
変更するアダプターのプロパティ画面が表示されます。



4. 「この接続は次の項目を使用します」項目で「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックする。
「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ」画面が表示されます。



5. 「次の IP アドレスを使う」を選択し、「IP アドレス」欄に「192.168.100.1」、「サブネットマスク」欄に「255.255.255.0」を入力する。



6. 「OK」をクリックする。
「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ」画面が閉じます。

7. 「閉じる」をクリックする。
「ローカルエリア接続のプロパティ」画面が閉じます。

3 「Web 設定画面」を開く

本製品の設定変更は、「Web 設定画面」から行います。「Web 設定画面」を開くには、本製品に接続した設定用のパソコンから操作してください。

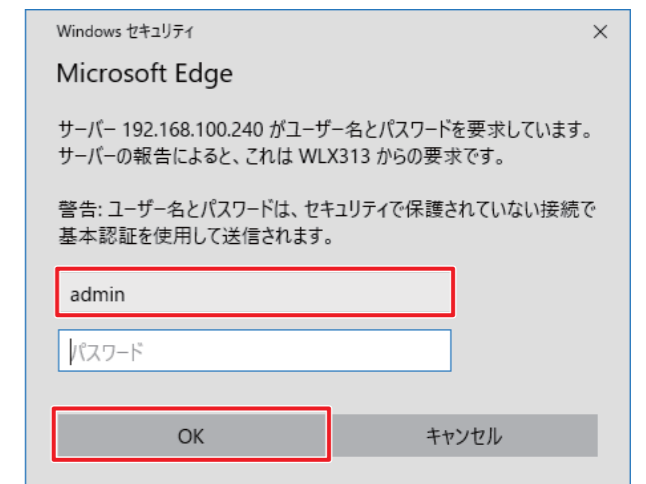
注意

「Web 設定画面」を使用するには Web ブラウザーが必要です。推奨 Web ブラウザーは「技術資料」(Web サイトに掲載)に記載しています。本紙では Windows 10 の Microsoft Edge を例に説明します。他の環境の場合は、画面表示が多少異なりますが、操作は同じです。

1. Microsoft Edge を起動する。
2. アドレスバーに「http://192.168.100.240/」と半角英数字で入力し、Enter キーを押す。
「ユーザー名」と「パスワード」を入力する画面が表示されます。



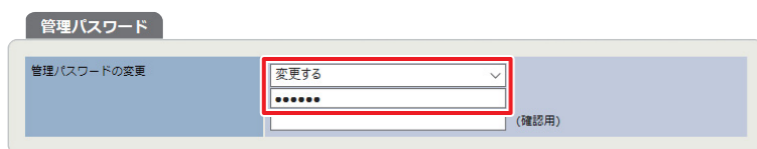
3. 「ユーザー名」欄に「admin」と半角で入力し、「パスワード」欄は空欄のまま「OK」をクリックする。
「Web 設定画面」のトップページが表示されます。



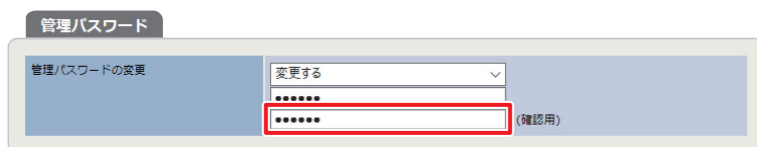
4 管理パスワードを設定する

本製品の管理パスワードを設定します。

1. 「Web 設定画面」のメニューから、「基本設定」－「管理パスワード」を順にクリックする。
「管理パスワード」画面が表示されます。
2. 「管理パスワード」項目で「変更する」を選択し、新しい管理パスワードを入力する。
入力したパスワードは、●で表示されます。



3. 手順 2 で入力した管理パスワードを再度入力する。
入力したパスワードは、●で表示されます。



4. 「設定」をクリックする。
設定内容が保存され、管理パスワードが変更されます。

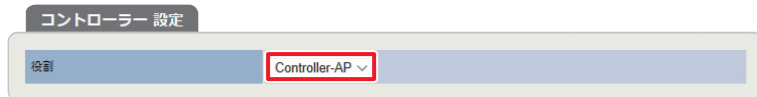
5 無線設定をする

続いて無線設定を行います。ここでは、内蔵 RADIUS サーバーを使ってユーザーを認証する方式を説明します。別の認証方式を使用する場合は、「技術資料」(Web サイトに掲載)をご覧ください。

1. 「Web 設定画面」のメニューから、「基本設定」－「コントローラー設定」を順にクリックする。
「コントローラー設定」画面が表示されます。



2. 「役割」項目で「Controller-AP」を選択する。



3. 「設定」をクリックする。
設定内容が保存されます。

4. 「拡張機能」－「RADIUS サーバー」を順にクリックする。
「RADIUS サーバー」画面が表示されます。

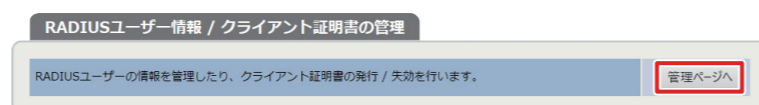


5. 「RADIUS サーバー機能」項目で「使用する」を選択する。



6. 「設定」をクリックする。
設定内容が保存されます。

7. 「管理ページへ」をクリックする。



8. 「ユーザーを追加、削除します。」項目の「追加」をクリックする。



9. ユーザー情報を入力する。
ここでは例として下記の情報を入力しています。

ユーザー ID : user_id
新パスワード / 確認用パスワード : password
認証方法 : peap

メモ
設定内容について詳しくは、設定画面の「ヘルプ」をご覧ください。



10. 「設定」をクリックする。
設定内容が保存されます。

11. 「無線設定 (共通)」－「SSID 管理」を順にクリックする。
表示された「SSID 管理」画面で無線設定を追加する番号の「追加」をクリックする。



12. 設定内容を入力する。
ここでは例として下記の情報を入力しています。

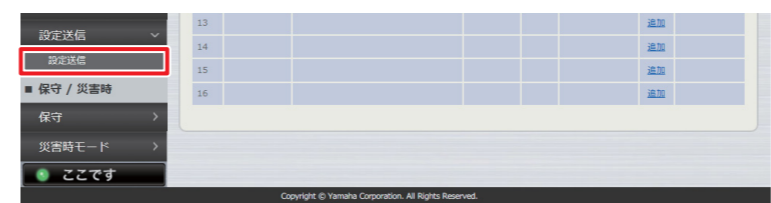
バインドする無線モジュール: 2.4GHz, 5GHz (1), 5GHz (2) (ノーマルモード)
SSID : YAMAHA
認証方式 : WPA2-EAP
暗号化方式 : AES
プライマリ RADIUS サーバー : 内蔵の RADIUS サーバーを使用する

メモ
設定内容について詳しくは、設定画面の「ヘルプ」をご覧ください。

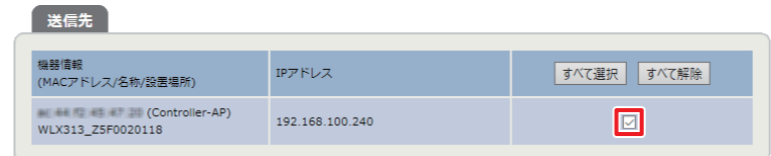


13. 「設定」をクリックする。
設定内容が保存されます。

14. 「設定送信」をクリックする。
「設定送信」画面が表示されます。



15. 「送信先」項目から設定を送信する AP をチェックする。



16. 「送信」をクリックする。
送信先に指定した AP に本製品の設定を送信します。

6 IP アドレスを設定する

本製品を接続するネットワークに合わせ、本製品の IP アドレスの設定を変更してください。本紙では、「192.168.1.240」への設定変更を例に説明します。

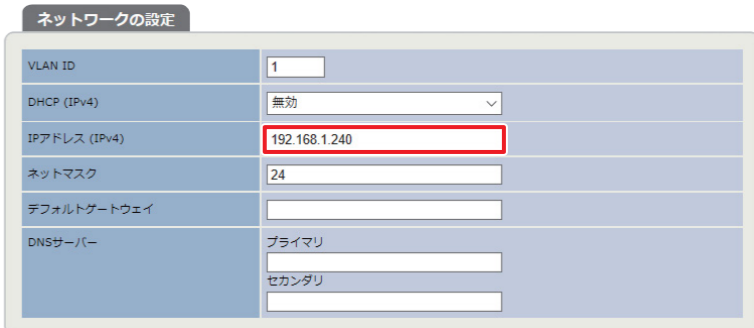
注意
・設定した IP アドレスによっては本製品とパソコンが接続できなくなります。
・本製品の無線設定が終わったら、パソコンの IP アドレスを元に戻してください。

メモ
設定内容について詳しくは、設定画面の「ヘルプ」をご覧ください。

1. 「Web 設定画面」のメニューから、「基本設定」－「LAN ポート設定」を順にクリックする。
「LAN ポート設定」画面が表示されます。



2. 「IP アドレス (IPv 4)」項目に「192.168.1.240」と入力する。



3. 「設定」をクリックする。
設定内容の確認画面が表示されます。

4. 「設定」をクリックする。
設定内容が保存されます。

7 設置する

「取扱説明書」と「設置ガイド」を参考に、本製品を設置しネットワークに接続してください。

重要
日付と時刻の設定は、本製品を運用する前に手動または NTP サーバー (時刻配信サーバー) で必ず行ってください。

本製品で管理する Member-AP として、その他の WLX313 をグループ登録する手順については、「技術資料」(Web サイトに掲載) をご覧ください。

詳細な設定や技術資料について

本製品の詳細な設定方法や管理方法、技術資料に関しては、以下の Web サイトをご覧ください。



ヤマハネットワーク周辺機器 技術情報ページ
<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/>

また、本製品は L2MS スレーブ機能に対応しており、Yamaha LAN Monitor (パソコン用) や、L2MS マスター機能を搭載しているヤマハルーター、ヤマハスイッチの LAN マップ機能を用いて、LAN 内のヤマハネットワーク機器を統合管理することができます。

Yamaha LAN Monitor



https://network.yamaha.com/support/download/utility/lan_monitor/

LAN マップ機能



<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/docs/lanmap/>

Manual Development Group
© 2018 Yamaha Corporation

2018 年 5 月発行 HS-A0